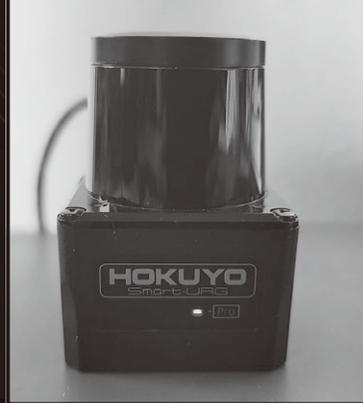
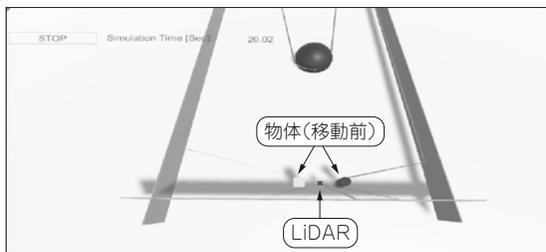


# 実機がなくても大丈夫 2次元LiDAR評価の方法3選

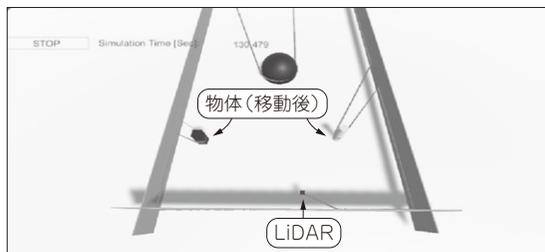
ご購入はこちら



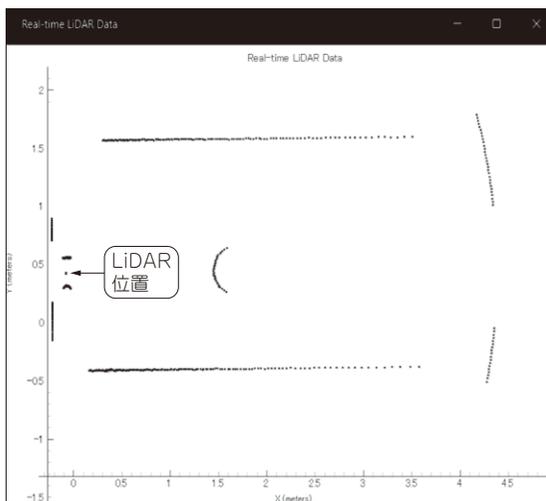
まぎの しんじ



(a-1) シミュレーション上に設けた空間

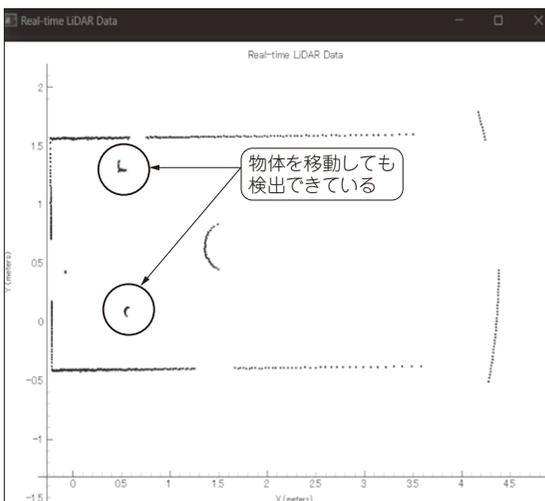


(b-1) シミュレーション上に設けた空間



(a-2) LiDARで検出したとする空間

(a) 起動時



(b-2) LiDARで検出したとする空間

(b) 物体を移動したとき

図1 バーチャル環境を利用したLiDAR評価

サンプルで動作させているのはURG-04LX-UG01。測定範囲：20～5600mm，走査角度：240°。lidar.jsonファイルを定義しなおすことで，さまざまなLiDARの評価ができる

2025年7月号では，2D LiDARの実機UST-30LX（北陽電機）を使って，LiDARの動作方法を紹介しました。2D LiDARの価格は，数万～数十万円なので，手軽に動作を試せません。そこで，実機がなくてもLiDARの動作を体験できる方法を3つ紹介します。

## 方法①…バーチャル環境で比較する

● LiDARを評価できるシミュレーション環境がある

現状，LiDARを購入するには価格がネックです。できれば購入する前に，実際の利用シーンへの適性や，測定精度などを評価したいところです。